

## 対策に関する分類コード一覧表

No	大分類	No	中分類
1	ライフラインの被害	1	道路
		2	構造物
		3	電気
		4	復旧
		9	その他
2	地盤の被害	1	土砂災害
		2	土地の崩壊
		9	その他
3	情報通信	1	通信不能
		2	正確な情報
		3	伝言ダイヤル
		9	その他
4	知識・心構え	1	危機感・心構え
		2	地震の一般知識
		3	地域の知識
		4	職場、仕事との両立
		9	その他
5	津波	1	直撃
		2	浸水
		3	避難
		9	その他
6	家の倒壊	1	倒壊
		2	火災
		3	塀・ブロック
		4	家具・ガラス
		5	耐震診断・補強
		9	その他
7	避難	1	避難場所
		2	避難路
		3	災害弱者
		4	治安
		9	その他

No	大分類	No	中分類
8	救出	1	家族の安否
		2	家族・隣人の救出
		3	災害弱者
		4	けが人の搬送・治療
		9	その他
9	避難生活	1	災害支援
		2	食料
		3	水
		4	トイレ
		5	生活必需品
		6	備蓄
		7	孤立
		9	その他
		10	共助
2	自主防の運営・訓練		
3	近所づきあい		
4	個人情報		
5	地域間連携		
6	企業との連携		
7	住民の費用負担		
8	備品の整備		
9	その他		
11	公助	1	防災訓練
		2	備蓄
		3	予算・助成金
		4	各種広報
		5	開発・許認可
		6	人材育成
		7	防災拠点
		8	他県からの支援
		9	その他

大分類	中分類	ワークショップでの見出し
1	1	道路
1	1	ライフラインの確保
1	1	孤立
1	2	ライフラインの確保
1	2	家が壊れる
1	2	避難生活
1	2	避難道の確保
1	2	早明浦ダム
1	3	ライフライン
1	3	ライフライン
1	3	どこまで準備したらいいのかライフライン
1	3	情報の共有は？だれが知ってるの？
1	3	建物
1	3	建物
1	3	生活面
1	3	まず生きのびるために
1	4	ライフライン
1	9	ライフラインの確保
2	1	土砂災害
2	1	家が壊れる
2	1	土砂崩れ
2	1	土砂崩れ
2	1	普段の心構え
2	1	山津波山崩れ
2	1	どこまで準備したらいいのかライフライン
2	1	山崩れ
2	1	山崩れ
2	1	山崩れ
2	1	山崩れ
2	1	地震による直接被害(津波土砂家屋倒壊)
2	1	土砂災害
2	1	土砂災害
2	1	土砂災害
2	1	土砂災害
2	1	土砂災害
2	2	土砂災害
2	2	地盤
3	1	情報
3	1	情報
3	1	情報
3	1	情報が分からない
3	1	連絡手段
3	1	連絡手段
3	1	情報の入手
3	1	建物
3	1	正確な情報をいかに早く知るか
3	1	金
3	1	孤立
3	1	心得
3	1	通信
3	1	通信
3	1	通信
3	1	発生時の情報伝達
3	2	情報
3	2	情報
3	2	津波の避難場所発生大きさの情報がほしい
3	2	情報の共有は？だれが知ってるの？
3	2	情報の正確性
3	2	情報の正確性
3	2	情報の正確性
3	2	正確な情報をいかに早く知るか

3	2	正確な情報をいかに早く知るか
3	2	津波による心配
3	2	災害についての正確な情報の共有
3	2	情報
3	2	情報
3	2	事前の情報
3	2	発生時の情報伝達
3	3	情報
3	3	連絡手段
3	3	連絡手段
3	3	連絡手段
3	3	家族との連絡
3	3	家族との連絡
3	3	情報の共有は？だれが知ってるの？
3	3	家族
3	3	家族等との連絡
3	3	家族等との連絡
3	3	安否確認
3	9	弱者
3	9	弱者
3	9	弱者

4	1	共助
4	1	生命を守るか(自分家族近所親類)
4	1	生命を守るか(自分家族近所親類)
4	1	生命を守るか(自分家族近所親類)
4	1	弱者の対策
4	1	ここでいいのか？避難場所
4	1	普段の心構え
4	1	食の確保
4	1	近隣間の関心が薄い
4	1	家族との連絡
4	1	避難場所
4	1	避難場所
4	1	避難場所
4	1	住民意識
4	1	地震は怖い！どうする？
4	1	建物
4	1	生活面
4	1	家族の安否
4	1	災害弱者
4	1	まず生きのびるために
4	1	まず生きのびるために
4	1	危機感
4	1	避難場所の心配
4	1	防災意識
4	1	基本的に自分家族の生命は自分で守る
4	1	コミュニケーションの混乱
4	1	コミュニケーションの混乱
4	1	コミュニケーションの混乱
4	1	コミュニケーションの混乱
4	1	住民意識
4	1	住民意識
4	1	住民意識
4	1	ケガ
4	1	意識
4	1	意識
4	1	安否確認
4	1	自主防災組織
4	1	危機意識
4	1	危機意識
4	1	危機意識
4	1	家の中の防災対策
4	1	家の中の防災対策

4	1	救援対策
4	1	避難
4	1	避難場所
4	2	住民同士の交流の必要性
4	2	住民意識
4	2	避難場所
4	2	体験情報
4	3	公助
4	3	公助
4	3	共助
4	3	共助
4	3	正しい情報
4	3	災害
4	3	避難場所について
4	3	食の確保
4	3	山津波山崩れ
4	3	山津波山崩れ
4	3	災害弱者
4	3	災害
4	3	住民意識
4	3	地震は怖い! どうする?
4	3	土砂災害
4	3	事前の準備
4	3	正しい自主判断(と知識)
4	3	災害
4	3	情報
4	4	職場への連絡
4	9	助け合えるか
4	9	健康管理

5	1	浸水(津波)対策
5	1	津波による被害
5	2	津波
5	3	浸水(津波)対策
5	3	津波
5	3	避難生活
5	3	職場
5	3	津波
5	3	津波による心配
5	3	津波による心配(生活)
5	3	津波による心配(生活)
5	3	津波による心配(生活)
5	3	津波による心配(生活)
5	9	津波による心配(生活)
5	9	津波による心配(生活)
5	9	津波
5	9	津波

6	1	家が壊れる
6	1	家が壊れる
6	1	家屋倒壊
6	2	火災
6	2	火災
6	2	火災が怖い
6	2	家屋火事
6	2	家屋火事
6	2	家屋火事
6	2	家屋火事
6	2	家屋火事
6	2	地震は怖い! どうする?
6	2	火災
6	2	火災
6	2	火災
6	2	火災

6	2	火事
6	2	火事
6	3	避難場所
6	3	避難路
6	3	緊急車両の通行路の確保
6	3	避難場所
6	4	建物
6	4	家屋の心配
6	4	家屋の心配
6	4	家屋の心配
6	4	家屋の心配
6	4	助け合えるか
6	4	家屋火事
6	4	家屋の倒壊
6	4	宅地と家屋の崩壊
6	4	事前の準備
6	4	事前の準備
6	4	地震による直接被害(津波土砂家屋倒壊)
6	4	ガラス対策
6	4	家が壊れる
6	4	家の中の防災対策
6	5	自然災害
6	5	建物
6	5	耐震対策
6	5	家屋の心配
6	5	普段の心構え
6	5	密集市街地の対策
6	5	家屋の倒壊
6	5	家屋の倒壊
6	5	建物の耐震化
6	5	家の倒壊
6	5	宅地と家屋の崩壊
6	5	各戸の耐震について
6	5	各戸の耐震について
6	5	事前の準備
6	5	家屋の倒壊
6	5	建造物の倒壊
6	5	わが家
6	5	古い家が多い
6	5	基本的に自分家族の生命は自分で守る
6	5	家が壊れる
6	5	建物の倒壊
6	5	家の倒壊
6	5	発生
6	5	発生
6	5	倒壊
6	9	まず生きのびるために
7	1	住民同士の交流の必要性
7	1	安全避難路の確保
7	1	安全避難路の確保
7	1	共助
7	1	共助
7	1	共助
7	1	共助
7	1	共助
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	避難先ルート
7	1	避難先ルート
7	1	ハードの対策
7	1	ハードの対策
7	1	津波の避難が困難
7	1	避難場所の妥当性

7	1	避難場所について
7	1	避難場所について
7	1	ここでいいのか？避難場所
7	1	家族間の連絡
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	地震は怖い！どうする？
7	1	避難場所は安全？
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	避難生活
7	1	避難生活
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	避難生活
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	各戸の耐震について
7	1	避難道の確保
7	1	情報
7	1	逃げ場所
7	1	自宅
7	1	避難場所
7	1	建造物の倒壊
7	1	建造物の倒壊
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	一時避難場所の確保
7	1	避難
7	1	避難場所
7	1	避難場所の問題
7	1	避難場所の問題
7	1	避難場所の問題
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	1	避難場所
7	2	避難先ルート
7	2	避難場所
7	2	避難場所
7	2	避難路
7	2	避難路
7	2	くらやみ対策
7	2	津波の避難場所発生大きさの情報がほしい
7	2	避難路があるか？
7	2	避難路があるか？
7	2	避難路があるか？
7	2	避難路があるか？
7	2	避難路があるか？
7	2	避難路
7	2	避難場所について
7	2	地震は怖い！どうする？
7	2	避難路
7	2	避難路
7	2	避難場所
7	2	避難場所
7	2	避難場所
7	2	避難ルート
7	2	山崩れ

7	2	避難道の確保
7	2	避難
7	2	情報
7	2	情報
7	2	避難場所
7	2	避難道
7	2	避難場所
7	2	避難経路
7	2	道路
7	2	避難
7	2	避難場所の問題
7	2	家の中の防災対策
7	2	避難場所
7	3	障害者、老人が心配
7	3	共助
7	3	高齢者子どもの問題
7	3	子どものこと
7	3	子どものこと
7	3	子どものこと
7	3	災害弱者
7	3	心得
7	4	治安
7	4	治安
7	4	地震後の治安
7	9	家屋の倒壊
7	9	家屋の心配
7	9	家屋の心配
7	9	逃げる時には
7	9	災害
7	9	地震は怖い! どうする?
7	9	地震は怖い! どうする?
7	9	避難場所
7	9	避難場所
7	9	防災意識
7	9	老人弱者
7	9	建物
7	9	避難

8	1	連絡
8	1	連絡手段
8	1	連絡手段
8	1	家族間の連絡
8	1	家族間の連絡
8	1	避難場所
8	1	情報の正確性
8	1	情報の正確性
8	1	事前の準備
8	1	ケガ人
8	2	密集市街地の対策
8	2	災害弱者への対応
8	2	救出方法
8	2	まず生きのびるために
8	2	家屋倒壊
8	2	家屋倒壊
8	2	心得
8	3	生命を守るか(自分家族近所親類)
8	3	救護
8	3	要介護者対策
8	4	災害弱者への対応
8	4	医療機関数
8	4	の年寄りはどうするの? ケガ人は誰が埋か の?
8	4	避難先
8	4	けが病気
8	4	被災者のケア

8	4	被災者のケア
8	4	負傷者対応
8	4	負傷者対応
8	4	住民の意識の向上
8	4	ケガ人
8	4	住民意識
8	4	ケガ
8	4	ケガ
8	4	避難
8	9	連絡手段
8	9	孤立
8	9	孤立
9	1	ライフライン
9	1	補給路
9	1	補給路
9	2	食料
9	2	食料
9	2	食料
9	2	食料
9	2	食料
9	2	食料
9	2	家屋の倒壊
9	2	普段の心構え
9	2	食の確保
9	2	食の確保
9	2	食の確保
9	2	どこまで準備したらいいのかライフライン
9	2	どこまで準備したらいいのかライフライン
9	2	どこまで準備したらいいのかライフライン
9	2	生活支援
9	2	避難生活
9	2	水食べ物電気
9	2	食料
9	2	避難生活
9	3	食料
9	3	ライフライン
9	3	ライフライン
9	3	どこまで準備したらいいのかライフライン
9	3	どこまで準備したらいいのかライフライン
9	3	生活面
9	3	ライフライン
9	3	防災意識
9	3	水食料
9	4	ライフライン
9	4	ライフライン
9	4	ライフライン
9	4	ライフライン
9	4	避難生活
9	4	トイレ問題
9	4	トイレ問題
9	4	トイレ問題
9	5	食料水
9	6	食料
9	6	家屋の倒壊
9	6	逃げる時には
9	6	食の確保
9	6	生活支援
9	6	地震は怖い！どうする？
9	6	地震の後は？普通に暮らせる？
9	6	地震の後は？普通に暮らせる？
9	6	避難生活
9	6	生活面
9	6	生活面



9	6	避難生活
9	6	ライフライン
9	6	ケガ
9	6	ケガ
9	6	避難
9	6	避難生活
9	7	道路
9	7	孤立
9	7	孤立
9	7	孤立
9	7	孤立
9	7	孤立
9	9	避難場所について
9	9	避難生活
9	9	生活面
9	9	生活面
9	9	生活面
9	9	生活面
10	1	共助
10	1	共助
10	1	共助
10	1	共助
10	1	自助、共助は！
10	1	自主防災組織のあり方
10	1	自主防災組織のあり方
10	1	家屋の心配
10	1	災害弱者の対応
10	1	災害弱者の対応
10	1	住民意識
10	1	自主防災組織はどうやってつくる？
10	1	自主防災の立上げ
10	1	自主防災の立上げ
10	1	共助
10	1	地震対策がとれてないこと（他人任せ）
10	1	地震対策がとれてないこと（他人任せ）
10	1	自主防災
10	1	危機意識
10	2	共助
10	2	共助
10	2	共助
10	2	生命を守るか(自分家族近所親類)
10	2	職場と自宅
10	2	防災組織
10	2	防災組織
10	2	防災組織
10	2	地域の交流
10	2	地域の交流
10	2	地域の交流
10	2	避難場所
10	2	住民が避難場所を準備する
10	2	防災訓練
10	2	近所の助け合い
10	2	火災が怖い
10	2	火災が怖い
10	2	自助、共助は！
10	2	地震の被害がわからない
10	2	防災訓練
10	2	高齢者対策
10	2	自主防災組織のあり方
10	2	自主防災組織のあり方
10	2	とっさの対応
10	2	とっさの対応
10	2	正しい情報

10	2	助け合えるか
10	2	助け合えるか
10	2	家屋火事
10	2	家屋火事
10	2	災害弱者
10	2	孤立
10	2	生活支援
10	2	避難場所
10	2	住民意識
10	2	地震は怖い！どうする？
10	2	情報の共有は？だれが知ってるの？
10	2	の年寄りは何をするの？フカ入は誰が埋か の？
10	2	自主防災組織
10	2	避難場所
10	2	食の確保（水など）
10	2	建物
10	2	助
10	2	連絡網
10	2	高齢者対策
10	2	高齢者対策
10	2	高齢者対策
10	2	高齢者対策
10	2	避難場所
10	2	地域の意識が低い(自主防)
10	2	住民の意識の向上
10	2	防災意識
10	2	防災意識
10	2	地震発生前
10	2	ケガ人対策
10	2	地震対策がとれてないこと（他人任せ）
10	2	地震対策がとれてないこと（他人任せ）
10	2	金
10	2	避難
10	2	意識
10	2	災害弱者の問題
10	2	避難場所
10	2	住民意識
10	2	心得
10	2	心得
10	3	防災組織
10	3	地域の交流
10	3	高齢者対策
10	3	救助避難
10	3	自主防災組織のあり方
10	3	災害弱者の対応
10	3	助け合えるか
10	3	助け合えるか
10	3	災害弱者
10	3	災害弱者
10	3	自主防災組織はどうやってつくる？
10	3	自主防災組織はどうやってつくる？
10	3	避難生活
10	3	家族
10	3	共助
10	3	避難
10	3	避難道
10	3	ケガ人対策
10	3	高齢者対策
10	3	高齢者
10	3	住民意識
10	3	安否確認
10	3	心得
10	4	障害者、老人が心配
10	4	自主防災組織のあり方

10	4	災害弱者の対応
10	4	災害弱者の対応
10	4	密集市街地の対策
10	4	近隣間の関心が薄い
10	4	災害弱者
10	4	災害弱者
10	4	災害弱者
10	4	災害弱者
10	4	災害弱者への対応
10	4	災害弱者
10	4	救護
10	4	救護
10	4	要援護者
10	4	高齢者対策
10	4	老人弱者
10	4	高齢者
10	4	高齢者
10	4	高齢者
10	4	高齢者
10	4	災害弱者の問題
10	5	防災組織
10	5	近所の助け合い
10	5	建物
10	5	行政(の限界)自助
10	6	構造物がこわれる
10	6	どこまで準備したらいいのかライフライン
10	6	孤立
10	6	避難生活
10	6	生活面
10	6	避難道
10	6	高齢者
10	7	職場と自宅
10	7	自主防災組織のあり方
10	8	住民意識
10	8	避難生活
10	8	救護
10	8	家族
10	8	地域の意識が低い(自主防)
10	8	備え!
10	8	備え!
10	8	ライフライン
10	9	生命を守るか(自分家族近所親類)
10	9	生命を守るか(自分家族近所親類)
10	9	弱者
10	9	自助、共助は!
10	9	密集市街地の対策
10	9	どこまで準備したらいいのかライフライン
10	9	どこまで準備したらいいのかライフライン
10	9	古い家が多い
10	9	ライフライン
10	9	ケガ
10	9	意識
10	9	家の中の防災対策
10	9	避難場所
10	9	住民意識
11	1	公共設備の対策が必要
11	1	生命を守るか(自分家族近所親類)
11	2	公共設備の対策が必要
11	2	家屋の倒壊
11	2	逃げる時には
11	2	避難場所
11	2	子どものこと
11	3	避難場所

11	3	避難場所
11	3	建物
11	3	水害
11	3	家が壊れる
11	3	耐震対策
11	3	自主防災組織はどうやってつくる？
11	3	地震の後は？普通に暮らせる？
11	3	建物の耐震化
11	3	事前の準備
11	3	備え！
11	3	コミュニケーションの混乱
11	4	公助
11	4	防災訓練
11	4	普段の心構え
11	4	住民意識
11	4	建物
11	4	家族等との連絡
11	4	各戸の耐震について
11	4	避難場所の心配
11	4	避難場所の心配
11	4	防災意識
11	4	古い家が多い
11	5	公助
11	5	公助
11	5	公助
11	6	生命を守るか(自分家族近所親類)
11	6	正しい情報
11	6	災害弱者
11	6	人と人とのコミュニティが大事
11	6	人と人とのコミュニティが大事
11	6	避難生活
11	6	建物
11	6	山崩れ
11	6	高齢者対策
11	6	地震対策がとれてないこと(他人任せ)
11	6	住民意識
11	7	人と人とのコミュニティが大事
11	7	正確な情報をいかに早く知るか
11	8	現状の把握
11	9	津波の避難が困難
11	9	津波の避難が困難
11	9	密集市街地の対策
11	9	密集市街地の対策
11	9	公助
11	9	公助
11	9	備え！
11	9	自主防災組織
99	9	職場と自宅

対 策	誰 が			いつ		
	自分	地域	行政	今から	その時	被災後
水没しない幹線道路の整備						
国道以外のバイパス						
迂回路整備						
地震に強い岸壁をつくる						
防潮堤の補強を！						
貯水槽の弱さ対策						
電柱の地中化						
正しい情報の周知を図る						
手動式の発電機						
発電機を各地区で設置						
自然エネルギー活用推進						
防災無線の機能を電気なしで使用できるようにする						
自家発電 設備						
ソーラー無線配備						
ソーラー発電を利用する						
発電式ライトを常備						
早急な復旧対策						
海から物資を運んでもらえる						
危険地域の法面補強						
裏山が大丈夫か行政など専門家に頼んで調査						
砂防対策の充実を図る						
トンネルの新設						
山の手入れが大事						
早期避難の指示ができる体制づくり						
間伐材 伐採許可						
森林の保全						
現状の確認						
山崩れ防止の対策工事の今以上の強い要請						
安全な場所に集まる						
がけ崩れ対策は日頃より各自、常に点検しておく						
急傾斜対策を早急に！						
10軒以下の地区への対策を！						
河川の周囲の竹、柳など地域で処分する						
土砂災害防止対策を行政で早く進めてもらう（土石留ダム）						
軟弱地盤の強化						
家の補強						
各地区ごとの放送設備の設置						
使用不能にならない情報伝達のシステムをつくる						
各地域毎の情報設備を整備と日常的な使用						
病院、学校などは特別な情報システムを構築する						
日頃から両親とメールをして伝言板を使えるようにしておく						
いろんな連絡手段を決めておく						
手動式ラジオを常備しておく（充電式）						
安い防災無線システム						
地区毎の情報が不通にならないように						
トランシーバー（電池式）自主防備品						
衛星電話						
のろしをあげる						
避難の後、無線を使う						
手旗信号もどうか						
元気であればタオル他、白いものを高い所に表示（通信不通の						
FMだと入りやすい						
防災消防アマチュア無線の合同ロールコール						
ラジオ						
津波警報の放送設備をつくる						
あらゆる情報が取得できる窓口を作っておく						
情報の処理方法のルール化						
情報内容の徹底周知						
防災無線を活用する						
自治体単位で情報を提供する						

ラジオを活用							
情報をより多く提供							
生きる希望を持てる情報の提供の仕方をする							
現状を知ってもらう							
ラジオが聞けるようにする							
もう一度検討し直す							
県外からの情報 ラジオ							
携帯の災害伝言ダイヤルの活用							
171の使い方を壁に貼る							
災害伝言ダイヤル「171」の使い方を練習する							
災害伝言ダイヤルを使うと決めておく							
日頃から家族で災害伝言ダイヤルのやり方を知っておく							
災害ダイヤル等家族全員で決め事を話し合っておく。							
災害時の携帯サービスを使う メールを使う							
災害伝言ダイヤルの利用							
災害ダイヤル等のためにNTTは容量を大きく							
高齢者、弱者が伝言ダイヤル等を使いやすくする							
171の使用の練習をしておく							
弱者よりの情報発信がしやすい状況をつくる							
情報の分析、取捨選択の力をつける 考える							
情報源の多様化							

意識 家族 地域							
意識を高める 地域で、学校で、家庭で							
生命 前震活用ガタガタきたら逃げる							
逃げる時間をロスする行為はしない							
地震全体の認識を高める							
学校で地震にあった時の行動を決めておく							
学校に入学時、屋上に自分のペットボトルを置き、卒業式に飲む							
危機意識を持つことが大切							
日頃の催し、集まりからスタートする							
家族での災害に対しての会議（家族災害マップ作成）							
行事などに積極的に参加する							
近所の寄り合い等に参加していく（情報交換）							
地域の行事等に参加し、地域住民との交流をもつ							
映像で視覚に訴える							
個々が自分を守る事を考える							
行政防災意識							
自分で守る							
家族で話し合っておく（連絡方法集合場所）							
家庭地域で話し合いをする							
防災グッズの常備							
笛を常備							
常に危機意識をもつ							
避難については、各自各家庭で検討させておく							
貸主が入居時に地区に協力を条件に入れるようにする							
家具の固定化							
家族単位で学習							
職場単位で学習							
地区単位で学習							
行政単位で学習							
住民意識 繰り返し、勉強会等で意識づけを行う							
協力共同の意識を高める過程学校教育							
気長に対応して関心を持たせる							
救急品の準備（各家で）							
学習啓発のくり返し							
地震心得を作成（一口メモ程度）							
家族での話し合い							
本気で備える							
地域で防災意識を高める							
山間地の危機感の醸成に努める							
日頃の集会等で必ず防災の話をする							
家の中の防災点検と対策を今からしておく							
寝ている所の近くに靴を置く							









安全な避難ルート							
わかりやすい看板							
日頃から避難場所と避難ルートの確認をしておく							
誰も理解できる避難標識をつくる（全国共通のもの）							
災害用の道しるべを電柱に掲げる（記号の統一）							
避難道整備							
高台の避難場所への手摺りがほしい（避難路の整備）							
マップ							
道を広くする							
避難路の見通し							
避難経路の安全確認を日頃からする							
逃げる道をあらかじめ決めておく							
避難路の表示（やっているところに習う）							
高齢者、障害者対策は、普段のお付き合いの中で支援体制をつく							
災害時、要支援者の把握と助けるシステム							
訓練毎に一人一人の避難の時間を計る							
保育園等で合同訓練を行う							
保幼小中の生徒の皆さんの避難訓練をする							
保育、幼稚園には人員支援が必要							
援護者の避難方法							
若い人が避難時に、お年寄りのに寄るなどして一緒に逃げる							
戸締まり貴重							
家が壊れた場合、後の防犯対策を考える							
各部署（行政）の連絡情報の発信							
靴を準備しておく							
とりあえず命を守ること							
靴を用意する							
大切な物は枕元に置く							
地震がおきたらとにかく逃げる							
大事なものだけを持ってすぐ逃げる							
家を出るとき必要なものを用意して手近に置く							
まずは自分の身を自分で守る							
避難案内の時、注意事項も一緒に							
靴と電池を枕元におく							
地区運動会で防災競技							
脱出可能な場所で寝ること							
避難時の声かけ							

家族で連絡方法等打合せ							
待ち合わせ場所を決めておく							
災害後の行動を話し合っておく							
各家庭の中で話し合い、決まりごとを							
連絡を少なくすること							
数家族で適当な避難場所、経路を決めておく							
家族の連絡場所を決めておく（方法も）							
家族で連絡方法を決めておく							
家族への連絡方法							
安否の確認							
大声を出す							
隣人同士の声かけ							
救出方法の学習訓練							
バール等の救出物資の常備							
道具（チェーンソー）							
資機材の設置							
避難する時に近所をまわる							
社会弱者の援助は難しい							
足腰の弱い方のいる家庭に簡易搬出具を考案し配布							
リストの整備（民生委員）							
地域医療機関の準備							
トリアージの訓練をしてみよう							
ヘリポート基地を多く設置する							
ヘリコプターを買う（山間地域）							
救急箱の準備、応急手当の学習							
病院側に災害後のシステムをしっかりとってもらう							









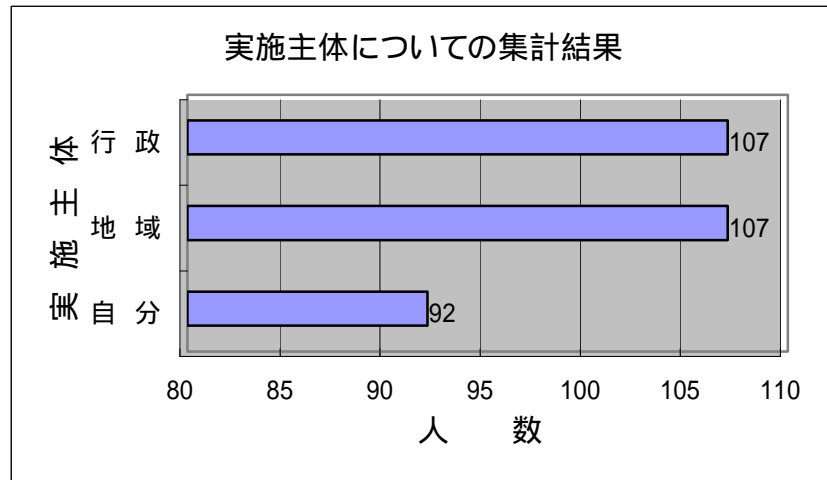
リポルピング方式の予算編成							
耐震診断、補強補助金を増やす							
内水排水のためのポンプ場							
耐震補強工事に補助金の交付							
公的資金による建替えを行う							
行政からの予算的支援の充実							
復旧に備えた個人支援制度の確立							
改修費用の負担補助を考える							
家屋補強のシステム作り(値段)							
各地区へ出される50万円のお金の増額							
予算(備品の購入等)							
危険地帯のPR							
部落で話し合い、必要性を行政より説明してもらう							
若者や高齢者の好きな番組を中心にCMで地震のことを広報する							
学校で講演などで地震について知らせる							
意識啓蒙							
県のH.Pなどで教え方を啓発する							
行政のサービスをみんなに知ってもらう							
市の広報で徹底							
公的機関の協力と事前説明を受けておく 樋門							
行政や地区自主防災組織で地震や津波の恐ろしさをもっと知らせる							
行政が耐震に対する情報を周知させる							
地域に合った開発(工事)							
開発の規制、強化							
公共事業の優先度をつける尺度をもつ							
防災エキスパート制度							
平均寿命が長くなり、小学校からの教育							
防災委員が活躍している							
地区に民間の専門委を							
災害ボランティアコーディネートの仕組みを構築							
防災員							
民間リーダーを育てる							
部落のリーダーをつくり対策をつくる							
学校で教える							
地域の専門者の組織化							
リーダーの育成をする							
地区拠点に防災センター設置							
まずは行政が検討することが第一							
他県の自治体との支援体制の確立							
地震対策窓口を市につくる							
住民の要望を聞く日常的な会合が必要							
事前に消防団員が動けるようにする							
消防団員は地区に特化すること							
事後のケア							
PTSDへの対策							
行政側がリーダーシップ(スタート)を!							
防災基本条例を制定し、設置の促進を図る							
被害減少化についてプロセスで検討							

# 対策の主体と時期に関する集計結果

N= 676

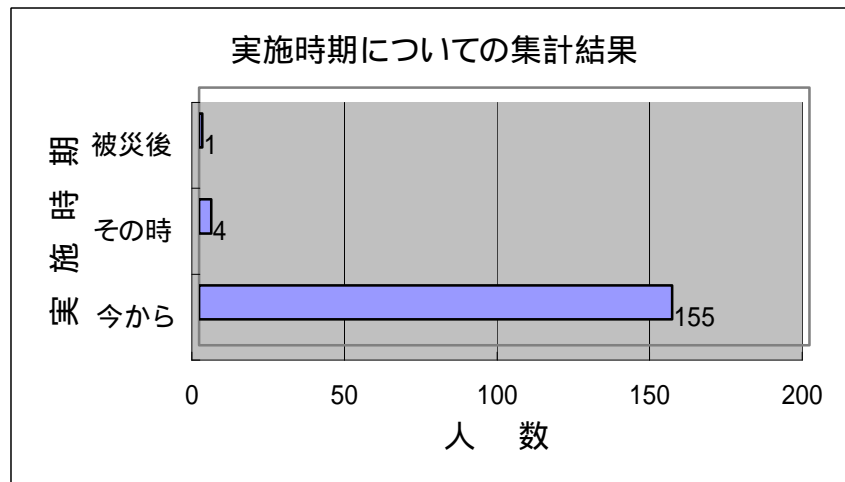
## 1.実施主体について

実施主体	
自分	92
地域	107
行政	107
合計	306



## 2.実施時期について

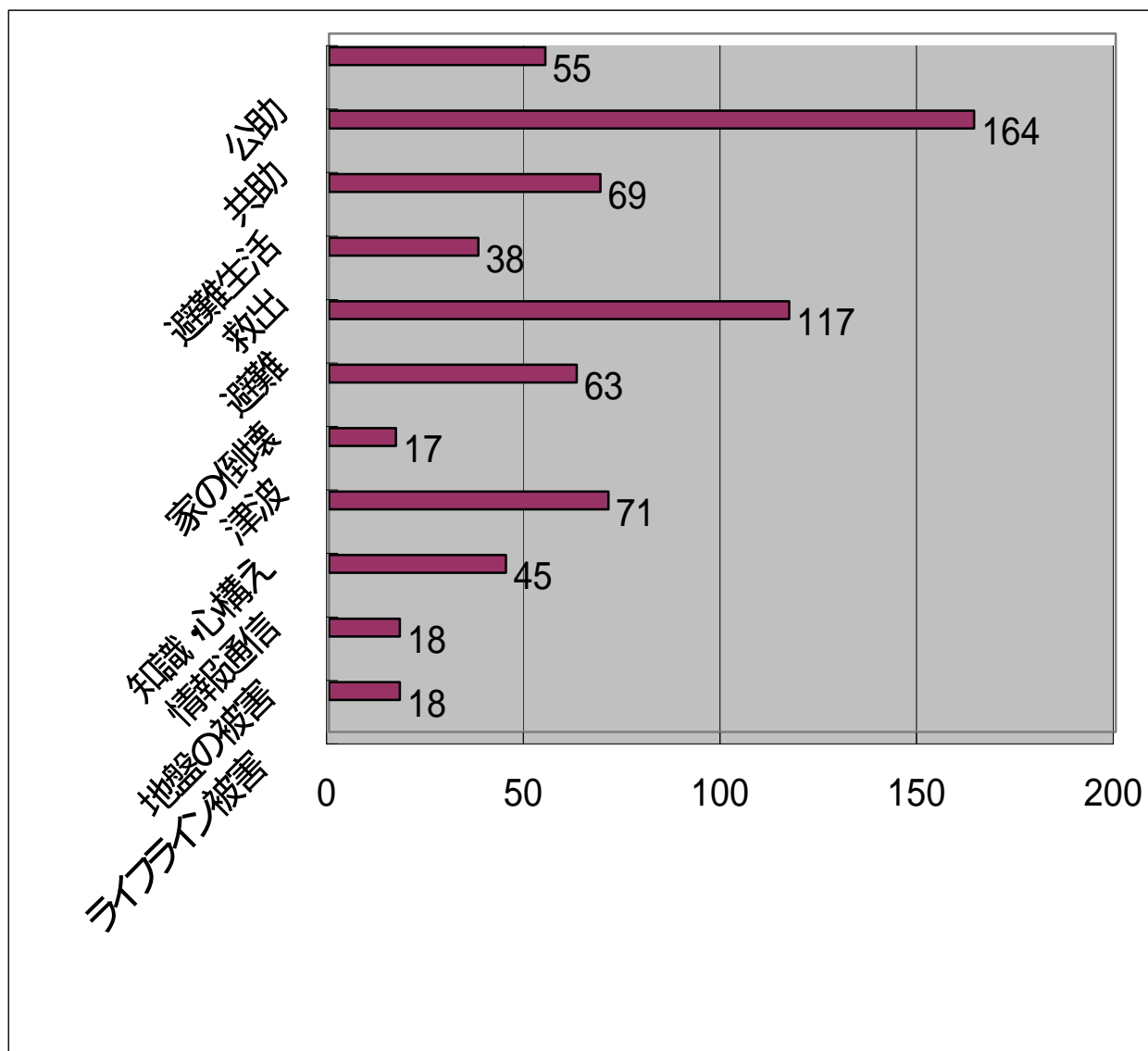
実施時期	
今から	155
その時	4
被災後	1
合計	160

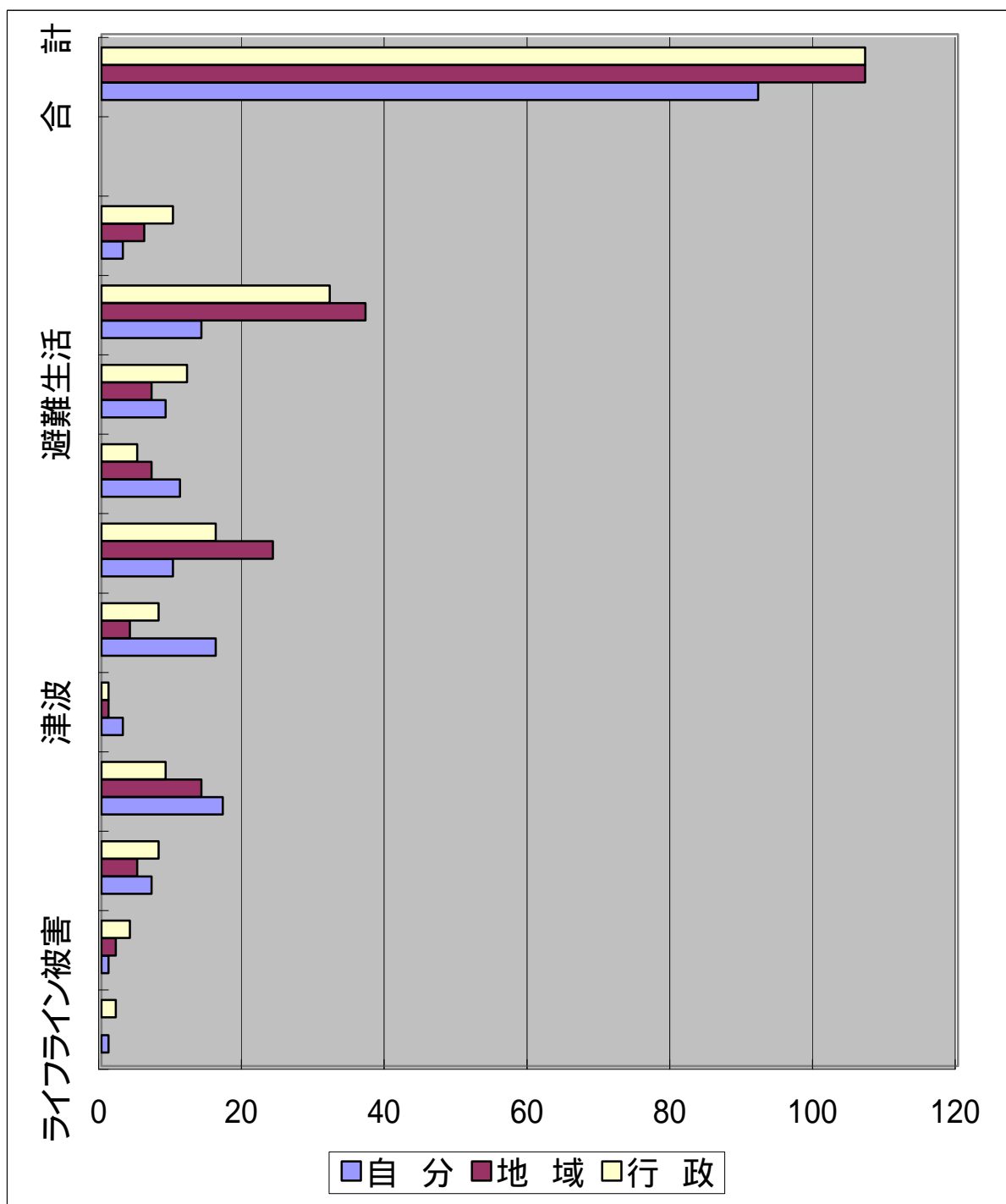




### 3.対策分類の単純集計と実施主体に関するクロス集計結果

	合 計	実施主体			合 計
		自 分	地 域	行 政	
ライフライン被害	18	1	0	2	3
地盤の被害	18	1	2	4	7
情報通信	45	7	5	8	20
知識・心構え	71	17	14	9	40
津波	17	3	1	1	5
家の倒壊	63	16	4	8	28
避難	117	10	24	16	50
救出	38	11	7	5	23
避難生活	69	9	7	12	28
共助	164	14	37	32	83
公助	55	3	6	10	19
その他	1				
合 計	676	92	107	107	306





分類	項目	分類	項目	分類	項目	
ライ フ ラ イ ン の	道路	家の 倒 壊	倒壊	共助	自主防災組織づくり	
	構造物		火災		自主防の運営・訓練	
	電気		塀・ブロック		近所づきあい	
	復旧		家具・ガラス		個人情報	
地盤 の 被 害	土砂災害		耐震診断・補強		地域間連携	
	土地の崩壊	避難場所	企業との連携			
	その他	避難路	住民の費用負担			
情報 通 信	通信不能	災害弱者	備品の整備		公助	防災訓練
	正確な情報	治安	備蓄			
	伝言ダイヤル	家族の安否	予算・助成金			
知識 ・ 心 構 え	危機感・心構え	家族・隣人の救出	各種広報	開発・許認可		
	地震の一般知識	災害弱者	人材育成	防災拠点		
	地域の知識	けが人の搬送・治療	他県からの支援			
	職場、仕事との両立	災害支援				
津波	直撃	避難 生 活	食料			
	浸水		水			
	避難		トイレ			
			生活必需品			
			備蓄			
	孤立					

# 地震対策の代表的な意見

1	ライフライン
道路	国道以外のバイパス
構造物	地震に強い岸壁をつくる 防潮堤の補強を！
電気	発電機を各地区で設置 ソーラー発電を利用する
復旧	早急な復旧対策
その他	海から物資を運んでもらえる

2	地盤の被害
土砂災害	危険地域の法面補強
	早期避難の指示ができる体制づくり
	森林の保全
	安全な場所に集まる
土地の崩壊	日頃より各自、常に点検しておく
	軟弱地盤の強化

3	情報通信
通信不能	各地区ごとの放送設備の設置
	安い防災無線システム
	トランシーバー（電池式）自主防備品
	衛星電話
正確な情報	元気であればタオル他、白いものを高い所に表示（通信不通の時）
	防災無線とアマチュア無線の合同
	情報の処理方法のルール化
	情報内容の徹底周知
	防災無線を活用する
伝言ダイヤル	県外からの情報 ラジオ
	携帯の災害伝言ダイヤルの活用
	災害伝言ダイヤル「171」を練習する
その他	家族全員で決め事を話し合っておく 情報源の多様化

4	知識・心構え
危機感・心構え	勉強会をする 地域で、学校で、家庭で
	家族での災害に対しての会議
	行事などに積極的に参加する
	映像で視覚に訴える
	日頃の集会等で必ず防災の話をする
	家の中の防災点検と対策を今から
	寝ている所の近くに靴を置く
地震の一般知識	高齢者の災害の経験談を聞くべき
	災害に対するシミュレーション研修会開催
地域の知識	防災マップの作成
	危険箇所の確認と周知
	地域ごとのマップ（独居、老人）を作成
職場、仕事との両立	職場内で決めておく
その他	日頃のイベントの裏方をして段取りになれておく

5	津波
直撃	海の方へ行かずに山の方へ避難すること
浸水	津波がどこまで来るのか調査
避難	高台とか山頂の避難場所を確保する 津波避難場所は数カ所必要 保育園等、避難場所を事前に話し合っておく
その他	職場、PTA等での学習会を行う 津波のこない処へ宅地を造る 土地の高さを電信柱に書いて

6	家の倒壊
倒壊	高知県独自の条例を作る
火災	火災の地域消火設備装備充実 電力柱に消火器をつける ガスが止まる装置をつけよう 消火器の使い方を知ってもらおう
塀・ブロック	ブロック塀はやめて生垣にする
家具・ガラス	家具の固定を義務化する 家具の固定 ヘルメットを用意しておく
耐震診断・補強	耐震診断、対策を行う 公共物の耐震調査必要
その他	2階で寝る

7	避難
避難場所	避難マンションがわかるしくみづくり 避難場所をマークでわかりやすく 避難場所を安全と生活に区別する 避難場所の明確な地図 ポスターなどによる避難場所の提示 避難タワーがほしい 1次、2次避難場所の構築 3階建以上の民間建物の活用 避難場所は二つ 避難場所の周知 避難場所の耐震性をすべき 避難場所地図（大看板で）を街中に設置
避難路	街路灯の整備 避難経路 看板をつける 避難路の周知 道が壊れたら、舟でいける様にする 避難路は複数の道を選んでおく 学校、地域で避難経路を調べてみる 地区内の避難道路を広げる 避難通路の整備
災害弱者	訓練毎に一人一人の避難の時間を計る 保育園等で合同訓練を行う
治安	若い人が避難時に、お年寄りの家に寄る 家が壊れた場合、後の防犯対策を考える 各部署（行政）の連絡情報の発信
その他	まずは自分の身を自分で守る 靴と電池を枕元におく 地区運動会で防災競技 脱出可能な場所で寝ること 避難時の声かけ

8 救出

家族の安否	家族で連絡方法等打合せ 家族の連絡場所を決めておく
家族・隣人の救出	隣人同士の声かけ 救出方法の学習訓練 バール等の救出物資の常備
災害弱者	足腰の弱い方簡易搬出具を配布 リストの整備（民生委員）
けが人の搬送・治療	トリアージの訓練をしてもらう ヘリポート基地を多く設置する リヤカーで運び出す ケガ人の搬出手当等の訓練を 救急箱の配置 下敷きの人を救い出す訓練 一般の人でもできる応急処置法の訓練
その他	いつも家族の写真を持ち歩く オフロードバイク隊

9 避難生活

災害支援	山道以外からサポート
食料	スーパー、コンビニ等との協定 防災マップに「食」を入れる 地域単独での3日間の食料備蓄 食べられる山野草などの講座 非常食の用意をする
水	谷川からホースを引いて取水する 井戸を公共空間につくる 食料水の備蓄
トイレ	仮設トイレバックを集会所に備蓄 バイオトイレ 移動式トイレを地区で確保
生活必需品	備蓄する ミルク、おむつ
備蓄	地域ごとに備蓄倉庫を作る 期限のあるグッズのメンテナンス 個人と地域で用意するものを分ける 避難生活にはキャンプ用品が有効
孤立	ヘリポート設置 食料 マップ作り
その他	リーダーを決めておく 避難生活での基本ルールを決めておく 行政を頼りにしない 行政にお願いするしかない 水道、電気、電話は諦めキャンプ生活

自主防災組織づくり	自主防災組織の結成 リーダーを育てる 町内会の組織の強化
自主防の運営・訓練	地域で訓練、住民の把握 お助け人のリストをつくる 会社員に訓練の参加に日当を出す 避難訓練をくり返し行う（住民参加） 老人、子供も参加する 自分たちで防災訓練を作る メンバーは携帯メールを交換しておく 防災組織作りの中で担当を決めていく 要援護者に対する担当者を決める
近所づきあい	両隣に声をかける（日頃が大事） 中高校生との連携を日頃より密とする 向こう三軒両隣の精神を忘れずに 地域イベント（祭り等） 防災組織へ 地域でつながりを持っておく 町内のつながりを大切にする 地域の協力や仲を深めておく
個人情報	弱者マップを作っておく（民生委員が協力） 寝ている場所を隣近所に知ってもらう 消防、福祉事務所を把握 個人情報保護とうまく両立させる 助けが必要な人の情報を事前に把握 助けにいく人を決めておく 隣近所で弱者の日頃の生活を把握する
地域間連携	他地域との連絡 他府県との連携ができるか 恵まれた地域 助けに行く 他の町村に学び、自覚する
企業との連携	食料確保の企業協力推進のための条例 重機供与協定 量販店との応援協定も必要 民間（NTT）の協力が心強い
住民の費用負担	自治会費に防災費を含める
住民の費用負担	各地区の防災備品をチェック 日頃からのブルーシートの準備
その他	人命救助犬を地域に一匹 民生委員の活用 災害共済的な助けあう制度を作る 経験者（高齢者）の活用 悪徳業者対策 引き出物＝防災グッズ 各地区で医療経験者の把握 運動会等で楽しみながら訓練 社協等が取り組む（高齢者、病弱者対策）

防災訓練	小中高大学生の防災訓練 地区内公務員に応急医療教育
備蓄	避難グッズを配布してほしい 消火液の補充などを官にお願いしたい 教育現場に防災グッズの設置
予算・助成金	復興予算の確保 耐震診断、補強補助金を増やす 公的資金による建替えを行う 行政からの予算的支援の充実 復旧に備えた個人支援制度の確立
各種広報	危険地帯のPR 部落で話し合い、必要性を行政より説明してもらう CMで地震のことを広報する 学校で講演などで地震について知らせる
開発・許認可	地域に合った開発(工事) 開発の規制、強化 公共事業の優先度をつける
人材育成	防災エキスパート制度 防災員 民間リーダーを育てる 学校で教える 地域の専門者の組織化
防災拠点 他県からの支援	地区拠点に防災センター設置 他県の自治体との支援体制の確立
その他	地震対策窓口を市につくる 住民の要望を聞く日常的な会合が必要 消防団員は地区に特化すること 事後のケア PTSDへの対策 防災基本条例を制定











